＜事業所全体による自己評価＞　R5.1.14実施

jump

項目	選択した理由	現状分析	解決目標	解決方法	期限	経過
非常時等の対応 緊急時対応マニュアル・災害マニュアル等に沿った訓練が行われていることを知っているか 非常災害の発生に備え、療育の中で定期的に避難・救出、その他必要な訓練が行われているか	一番保護者にとって不明瞭だった為	定期的に避難訓練を行っているものの保護者への伝達が行えていない。 台風、防犯救急救、嘔吐、けいれん時の対応など行った。	会社で行っていることを保護者に伝達する。	部署内で年2回、全体で年2回その他緊急事態の対応を年2回 LINEやインスタで訓練のお知らせや訓練の様子などを保護者に伝達する	一年間	jumpではインスタを活用できていないが、災害カードで災害伝言ダイヤルの使い方や避難所のお知らせはしている。1週間、避難訓練を続けて行い、保護者にはフィードバックの際に伝えている。
保護者への説明等 定期的にお便りやLINE等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をお子様や保護者に対して発信しているか	実際の活動風景が保護者にイメージしづらい為	実際に保護者が療育の現場を見る機会がない	活動の様子を発信したり活動の目的を保護者に伝達する。	保護者会も含めた親子療育の場を作る。 インスタで療育の現場を見られるようにお知らせをする。 保護者が興味を持つ様な内容や活動の目的などインスタで行うように徹底する。 活動の目的を保護者に伝える。	一年間	前半はインスタの不具合で更新できないことが続いたが、改善され、投稿頻度を上げる努力はしている。土曜日療育の内容などはエントリーの段階で詳細にお伝えするようになった。
適切な支援の提供 事業所内の活動だけでなく、地域との交流や社会参加のスキルを上げる活動が取り入れられているか	保護者からのニーズが高かった	計画していたことがコロナ禍の為、取り組むことが出来なかった。（公共交通機関、地域交流）	コロナ禍でもできる活動に取り組み、地域の人や保護者に周知する	おひさま縁日、わくわくフェスタへの参加、近隣の方への挨拶、清掃、公共の場への外出を周知する。	一年間	おひさま縁日とワクワクフェスタには参加。金曜日の中高生グループでは、外出するための予行演習（買い物のデモンストレーションや公共の場でのマナーなど）を行っている。いちばん星の駐車場を清掃し、近隣への配慮を行っている。畑グループでは、新宮への野菜の出張販売を行い、練習を積み重ねている。